

問診1～10にある該当項目をチェックしてください。

例えば、問診1の場合ご自宅を新築したのが昭和60年(1985年)でしたら、評点1となります。

問診	項目	評点		
Q1	建てたのはいつ頃ですか？	建てたのは昭和56年(1981年)6月以降	1	
		建てたのは昭和56年(1981年)5月以前	0	
		よく分からない	0	
Q2	いままでに大きな災害に見舞われたことはありますか？	大きな被害に見舞われたことがない	1	
		床下浸水・床上浸水・火災・車の突入事故・大地震・崖上隣地の崩落などの災害に遭遇した	0	
		よく分からない	0	
Q3	増築について	増築していない。または、建築確認など必要な手続きして増築を行った。	1	
		必要な手続きを省略して増築し、または増築を2回以上繰り返している。増築時、壁や柱を一部撤去するなどした。	0	
		よく分からない	0	
Q4	傷み具合や補修・改修について	傷んだところは無い。または、傷んだところはその都度補修している。健全であると思う	1	
		老朽化している。腐ったり白蟻の被害など不都合が発生している	0	
		よく分からない	0	
Q5	建物の平面はどんな形ですか？	どちらかというとも長方形に近い平面	1	長方形に近い平面 複雑な平面
		どちらかというともLの字・Tの字など複雑な平面	0	
		よく分からない	0	
Q6	大きな吹き抜けがありますか？	一辺が4m以上の大きな吹き抜けはない	1	一辺が4mをこえる吹き抜け 1階壁 2階床
		一辺が4m以上の大きな吹き抜けがある	0	
		よく分からない	0	
Q7	1階と2階の壁面が一致しますか？	2階外壁の直下に1階の内壁または外壁があるまたは、平屋建である	1	2階外壁 1階外壁 壁がない 2階外壁 1階外壁 壁がある
		2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がない	0	
		よく分からない	0	
Q8	壁の配置のバランスは？	1階外壁の東西南北どの面にも壁がある	1	北 南面に壁がない例 壁
		1階外壁の東西南北各面の内、壁が全くない面がある	0	
		よく分からない	0	
Q9	屋根葺材と壁の多さは？	瓦など比較的重い屋根葺材であるが、1階に壁が多い。または、スレート・鉄板葺・銅板葺など比較的軽い屋根葺材である	1	1階に壁が多い例 壁 1階に壁が少ない例 (縦方向の壁が少ない)
		和瓦・洋瓦など比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない	0	
		よく分からない	0	
Q10	どのような基礎ですか？	鉄筋コンクリートの布(ぬの)基礎またはベタ基礎・杭基礎	1	鉄筋コンクリート布基礎の代表例 鉄筋コンクリートベタ基礎の代表例
		その他の基礎	0	
		よく分からない	0	

問診1～10の評点を合計します

※ご注意/この診断では地盤については考慮していませんので、ご自宅が立地している地盤の影響については専門家におたずねください。

評点合計 点	評点の合計 10点	判定 今後の対策	ひとまず安心ですが、念のため専門家に診てもらいましょう。
	8～9点		専門家に診てもらいましょう。
	7点以下		心配ですので、早めに専門家に診てもらいましょう。